

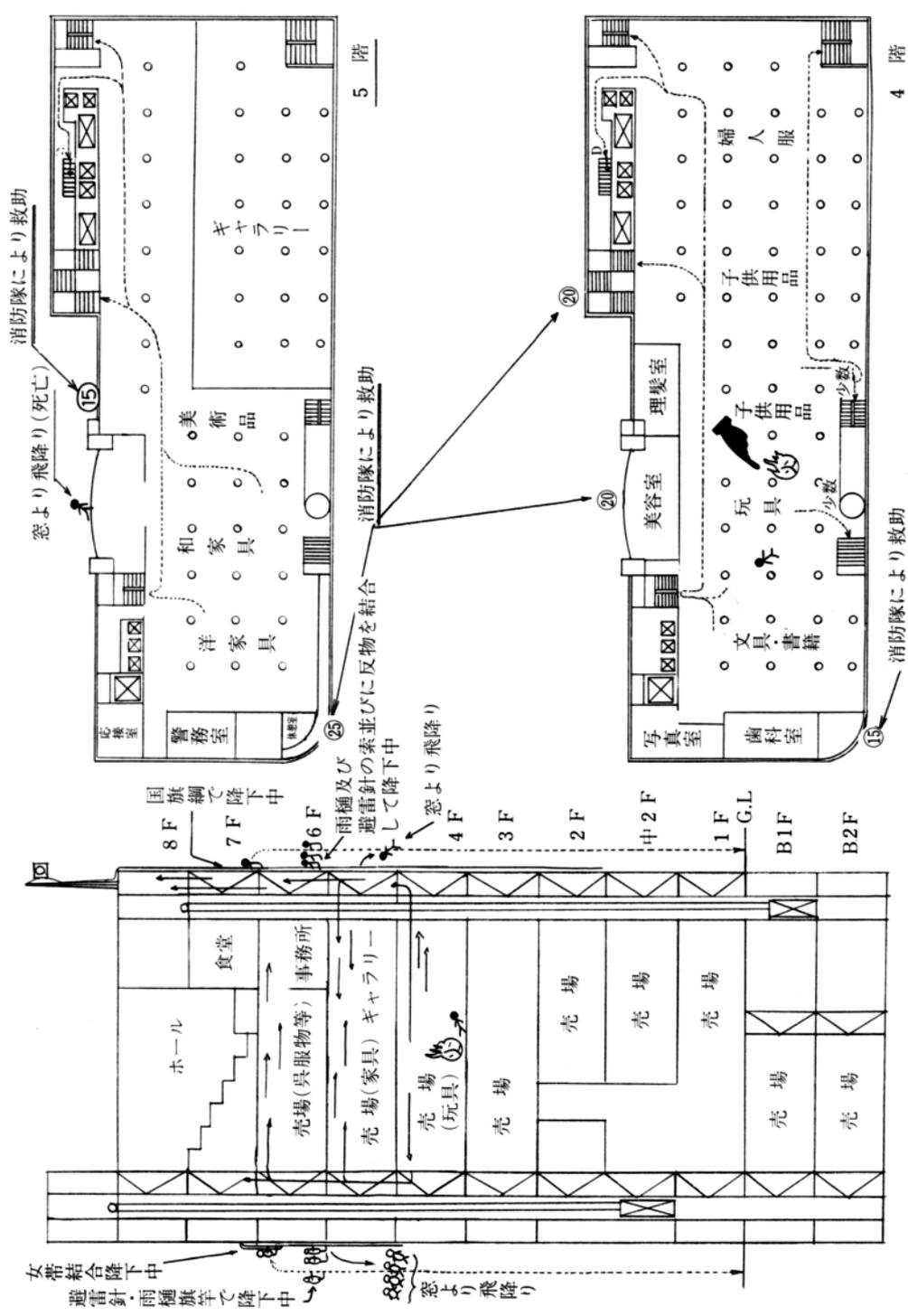
名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造 ・ 階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼 損 面 積) 延 焼 面 積	死 傷 者
白 木 屋 東京都日本橋区 通 1 ～ 9	百貨店 (4)	昭和 7 年 12 月 16 日	耐火 Ⅱ	全(半)部・小	死者
		出火 9 時 18 分 ころ 覚知 9 時 23 分 覚知別 望楼発見 鎮火 12 時 30 分	建 3,409m ² 延 34,305m ²	13,140m ² (38%)	14名 傷者 40名 (14)

I 火災概要								
① 概 要	この火災は、我国最初のビルディング大火として、高層建築物における防火、避難施設・設備の必要性並びにビルディング火災に対する消火及び救助作業の科学的、機械的な面での問題点を如実に暴露したもので、近代化日本に一大警告を發した火災である。							
② 階 別 状 況	階	床面積 m ²	焼損床面積 m ²	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等	消防用設備等
	R	292.1		機械室			屋内階段 (直通 6 箇所) 1F～4F 1 箇所	⑨ 各階 7 ⑩
	8	1,805.0		社員食堂				
	7	3,368.6	2,996.4	大食堂, ホール	150			
	6	3,385.4	3,385.4	売場, 事務室	200	6 (男 1 女 5)		
	5	3,385.4	3,385.4	売場, 会議室	110	6 (男 2 女 4)		
	④	3,373.5	3,373.5	売場, 歯科, 実容室	200	1 (男)		
	3	3,373.5		売場, 日本間	180	1 (男)		
	2	3,363.5		売場	180			
	中2	771.8		事務室	30			
	1	3,409.5		売場	200			
	B1	3,846.5		売場, 食堂	180			
	B2	3,930.7		機械室, 食堂	170			
	合計	34,305.5	13,140.6		1,600	14 (男 5 女 9)		
③ 出 火 場 所	(階, 室, 部位, 可燃物状況, 居室・非居室, 在・不在) ○ 4 階玩具売場に展示されていたクリスマスツリーから出火したもので、同所付近にはセルロイド製の玩具等が陳列されていた。 ○ 出火当時、開店直後であったため、客は少なく、従業員がほとんどであった。				④ 出 火 原 因	クリスマスツリーの装飾用豆電球が故障したため修理を始めたところ、急に豆電球がスパークし、クリスマスツリーの装飾用の金モールに着火したものの。		

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> (出火部位) 4階玩具売場の クリスマスツリ </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> (出火室(階)の拡大) セルロイド製玩具及 び売場の商品に燃え 移り延焼拡大 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> (出火階から他階への拡大) 階段、スパイラルシュート、エスカレーター等 の堅穴から5階、6階、7階へと延焼 </div> </div>	
	<p>○ 4階玩具売場(旧館側)から発生した火炎は、四方に燃え移り、新館側へ拡大して年末大売出しのため山積みされていた商品に延焼するとともに、猛烈な勢いをもって、階段、スパイラルシュート、エスカレーター等の堅穴開口部から上昇した火炎によって5階、6階、7階へと順次延焼していった。</p> <p>○ 各階の電気時計の停止時刻と破壊状況から推察すると、1つの階が火炎に包まれる時間は、10～15分程度であったと思われる。すなわち、4階においては9時40分頃にはかなりの高熱に達し、5階から7階の各階においても10時20分頃までには一面火の海となっていたものと推定される。</p> <p>○ 延焼拡大した主な理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出火場所周辺に多量のセルロイド製玩具等の爆燃性製品があった。 ○ 各階層とも多量の商品が山積みされていたため、延焼速度が早かった。 ○ 出火場所周辺に防火区画のなされていない階段、エスカレーター、スパイラルシュート等があったため、上階への延焼が早かった。 <p>○ 煙の伝播経路</p> <p>出火場所周囲のセルロイド玩具の急激な燃焼により発生した濃煙は、4階の天井部分を水平に流動して充満していくとともに、出火場所周辺の階段、エスカレーター、スパイラルシュート等が煙突の状態となって急速に上昇し各階に伝播していった。</p>	
II 火災建物概要		
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (竣工) 昭和3年11月 日 (増築) 昭和6年9月19日	
管 理 状 況	② 堅 穴 の 状 況	③ 防 火 管 理 状 況
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input checked="" type="checkbox"/> エレベーター <input checked="" type="checkbox"/> パイプシャフト <input checked="" type="checkbox"/> エスカレータ <input checked="" type="checkbox"/> その他(スパイラル) <input checked="" type="checkbox"/> <p>○ 堅穴関係の防火的区画なし(法的規制がなかった)</p> <p>○ 階段の一部に防火シャッターがあるが、局部的であり、防火的な用はなさないものであった。(本火災では1ヶ所も閉鎖されなかった)</p>	<p>○ 当時は防火管理に関する規制がなかった。</p> <p>○ 火災の2週間前に同店において「防火デー」を催し、避難訓練、救助演習を実施している。</p> <p>○ 百貨店側としては、火災時に対する店員の教育、訓練について心掛けていたようであるが、不十分な面がみられた。</p>
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等	⑤ 消 防 用 設 備 等
	<p>○ 売場内は区画がなく大空間の室である(法的規制がなかった)</p> <p>○ 売場以外(美容室、休憩室、電話交換室等)との区割壁は、いずれも木造の間仕切り壁であった。</p>	<p>○ 消防用設備等の機能は適正に維持されていたが、屋内消火栓の前に商品その他の品物が多量に山積みされていて近づけない所があった。</p>

III 火災後の行動						
① 発見状況	<p>○発見者 (クリスマスツリー修理中の電気係員) ○発見の動機 (豆電球がスパークしたのに気付く) ○発見後の行動 (さわいで周囲の店員に知らせる)</p> <hr/> <p>数日前に取付けた4階玩具売場のクリスマスツリー装飾用豆電球が故障したため、電気係員が修理中、突然豆電球がスパークしてクリスマスツリーの金モールに燃え移ったのを発見し、「火事だ」と騒いで近くにいた店員等に知らせた。</p>					
② 通報状況	<p>通報した <input checked="" type="checkbox"/> (店員が火災専用電話で通報(第3報覚知)) 発見後約(7)分 通報しない <input type="checkbox"/></p> <hr/> <p>○火災発見者及び店員等は狼狽し、客の避難等に傾注したため、消防への通報が著しく遅れた。 ○消防覚知の第1報は、出火した約5分後に日本橋消防署望楼で煙を発見し通報された(9時23分) ○第2報は、白木屋前の道路上に設置されていた火災報知機により受信(9時23分20秒) ○白木屋から火災専用電話により通報がなされたのは、出火及び発見7分後の9時25分であった(第3報)</p>					
③ 初期消火状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">消火した</td> <td style="width: 25%;"> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> </td> <td rowspan="2" style="width: 60%; vertical-align: top;"> (理由又は状況) ○火災を発見した者は、周章狼狽したため消火時期を失ってしまった。 ○火災を知った一部の店員は、屋内消火栓のホースを取り出し、注水したが、セルロイド製玩具等が爆燃的に燃えて火勢拡大していたため、消火効果はまったくなかった。(初期消火者のうち1名がCO中毒により死亡) ○消防隊到着まで屋内消火栓を使用し防ぎよしている。 ※使用された屋内消火栓 3階…7ヶ所 4階…4ヶ所 5階…3ヶ所 6階…5ヶ所 } 計19ヶ所 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">消火しない</td> <td> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> </td> </tr> </table>	消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) ○火災を発見した者は、周章狼狽したため消火時期を失ってしまった。 ○火災を知った一部の店員は、屋内消火栓のホースを取り出し、注水したが、セルロイド製玩具等が爆燃的に燃えて火勢拡大していたため、消火効果はまったくなかった。(初期消火者のうち1名がCO中毒により死亡) ○消防隊到着まで屋内消火栓を使用し防ぎよしている。 ※使用された屋内消火栓 3階…7ヶ所 4階…4ヶ所 5階…3ヶ所 6階…5ヶ所 } 計19ヶ所	消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
消火した	成功 <input type="checkbox"/> 失敗 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input checked="" type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/>	(理由又は状況) ○火災を発見した者は、周章狼狽したため消火時期を失ってしまった。 ○火災を知った一部の店員は、屋内消火栓のホースを取り出し、注水したが、セルロイド製玩具等が爆燃的に燃えて火勢拡大していたため、消火効果はまったくなかった。(初期消火者のうち1名がCO中毒により死亡) ○消防隊到着まで屋内消火栓を使用し防ぎよしている。 ※使用された屋内消火栓 3階…7ヶ所 4階…4ヶ所 5階…3ヶ所 6階…5ヶ所 } 計19ヶ所				
消火しない	○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>					
④ 消火活動概要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>○消防隊到着時すでに各階の窓から煙が吹き出し、4階の窓からは炎が噴出していた。又各階のバルコニーには救助を求める人がたくさんいたため、活動の主力を人命救助に集中し、梯子車をはじめ、梯子車積載の救助袋、救助幕、ロープ等を使って目ざましい活動がなされた。 一方消火活動も人命救助に併行して行われたが、関係者からの誘導等がなかったこともあり、上階からの火勢制圧ができなかった。(先着隊が進入した階段が4階で行き止まりであったため、引き返して3階から他の階段により5階へ進入しようとした時は、火煙により進入が不能となってしまった) ○合計39隊が内部進入し、各階段からホースを上げて消火作業に努めたが、ホースを上げるのに大変な人手と労力を要した。 ○梯子車は3台しかなく、又屋上(約33m)まで届かないため、屋上避難者が使用できなかった。</p>					

	避難方法	避難上支障事項																	
⑤ 避難 状況	<ul style="list-style-type: none"> ○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (1,171人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input type="checkbox"/> (人) ○救助 <input checked="" type="checkbox"/> (395人) ○その他(雨樋、避雷針等を利用し降下)<input checked="" type="checkbox"/> (20人)<small>(既記対象)</small> 	<ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備<input type="checkbox"/> (管理不良,機能不良,未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 																	
⑥ 死者 の 状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">健康人 14名</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">避難上支障となった事項</td> </tr> <tr> <td>(泥酔者 名)</td> </tr> <tr> <td>要保護者 0名</td> </tr> <tr> <td>乳幼児 名</td> </tr> <tr> <td>高齢者 名</td> </tr> <tr> <td>身体不自由者 名</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;"> <ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良,機能不良,未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> </td> </tr> <tr> <td>病人 名</td> </tr> </table>	健康人 14名	避難上支障となった事項	(泥酔者 名)	要保護者 0名	乳幼児 名	高齢者 名	身体不自由者 名	<ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良,機能不良,未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 	病人 名	<p>死者の発生した時期は、大部分が消防隊の救助作業、開始前であり、4階で初期消火中死亡した1名を除き、次に示すような特殊な方法により避難しようとして、途中で墜落死亡している。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">国旗綱により降下中墜落 7F 1名(男)</td> <td style="width: 50%;">反物を接合し降下中墜落 6F 2名(男)</td> </tr> <tr> <td>避雷針の索により降下中墜落 6F 2名(男1,女1)</td> <td>女帯を接合し降下中墜落 7F 1名(女)</td> </tr> <tr> <td>雨樋により降下中墜落 6F 1名(女)</td> <td>窓から飛降りる 5F 1名(男) 7F 4名(女)</td> </tr> <tr> <td>旗等により降下中墜落 6F 1名(女)</td> <td>※一酸化炭素中毒 4F 1名(男)</td> </tr> </table>	国旗綱により降下中墜落 7F 1名(男)	反物を接合し降下中墜落 6F 2名(男)	避雷針の索により降下中墜落 6F 2名(男1,女1)	女帯を接合し降下中墜落 7F 1名(女)	雨樋により降下中墜落 6F 1名(女)	窓から飛降りる 5F 1名(男) 7F 4名(女)	旗等により降下中墜落 6F 1名(女)	※一酸化炭素中毒 4F 1名(男)
健康人 14名	避難上支障となった事項																		
(泥酔者 名)																			
要保護者 0名																			
乳幼児 名																			
高齢者 名																			
身体不自由者 名	<ul style="list-style-type: none"> ○無窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input type="checkbox"/> (管理不良,機能不良,未設置) ○停電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input checked="" type="checkbox"/> 																		
病人 名																			
国旗綱により降下中墜落 7F 1名(男)	反物を接合し降下中墜落 6F 2名(男)																		
避雷針の索により降下中墜落 6F 2名(男1,女1)	女帯を接合し降下中墜落 7F 1名(女)																		
雨樋により降下中墜落 6F 1名(女)	窓から飛降りる 5F 1名(男) 7F 4名(女)																		
旗等により降下中墜落 6F 1名(女)	※一酸化炭素中毒 4F 1名(男)																		
<h4>IV 問題点・教訓等</h4> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物構造が耐火造であったため、ほとんどの者が火災に対する安全性を過信していた。 2. 法的な規制がなかったこともあり、階段、エスカレーター等の縦穴区画や売場内の防火区画等が全くなかった。 3. 警報設備や避難器具等がなかったため、火災認知の遅れや多数の逃げ遅れ及び死亡者を出す大きな要因となった。 4. 毎年消防訓練を実施するなど、防火について心掛けていたようであるが、形式的であり、店員への教育訓練が不足していたため、セルロイド製玩具へ燃え移る前での初期消火や、早期の通報、組織的な避難誘導等が適切に行われず、周章狼狽する者がほとんどであった。 5. 高層建物に対する消防機材としての放水銃、防煙マスク、高圧ホース等が不十分で、又、消火栓の圧力及び水量が不足したため消防活動に支障をきたした。 6. 当時東京には3台の梯子車しかなく、高層階での救助及び消火活動のために増強が必要である。(白木屋の屋上は33mあり、28m級梯子車では届かなかった) 																			



4 階

5 階

消防隊により救助

消防隊により救助

消防隊により救助

女帯結合降下中
避難針 雨樋旗竿で降下中

避難針の索並びに反物を結合して降下中
窓より飛降り

消防隊により救助

消防隊により救助

